

古いものも新しい

イタリヤのある老舗大衆食堂の店主は、「今のまゝの形でずっと店を残したい。そうすれば、いつか新しいものになる。」と言う。これは、「新しいものもよいかもしれないが、昔からあるものを続けていけば、時代を超越する価値を帯びてくる。」という事であろうし、「近代主義はほぼほゞにしなければならぬ。」という近代主義への警告でもあると理解した。

近代主義とは、「合理化、科学、技術、人智を超えた概念の軽視」を特徴とする思想である。今のところ理解しているが、行きつくところ、際限がない。例えば、現代はそれが無いとデスクワークに支障をきたすほゞにパソコンが普及したが、便利な反面、様々な健康被害が生じている。一方、50年前の会社の各人のデスクにはパソコンが無く、資料作成は手書きで大変だった。ただ、パソコンに起因する健康被害は無い。さて、パソコンが有るのと無いのとで、人間にとってどちらが幸福か。

近代主義に慣れてしまうと、進化し続ける事、新しい事が当たり前になるが、たまには立ち止まる事も必要ではないかと思われる。そして、暫し立ち止まれば、決して善悪や優劣の二元論で語るのではなく、自分の知識や能力が及ぶ限り多面的に検討すべきである。

江幡 淳